

胆石症



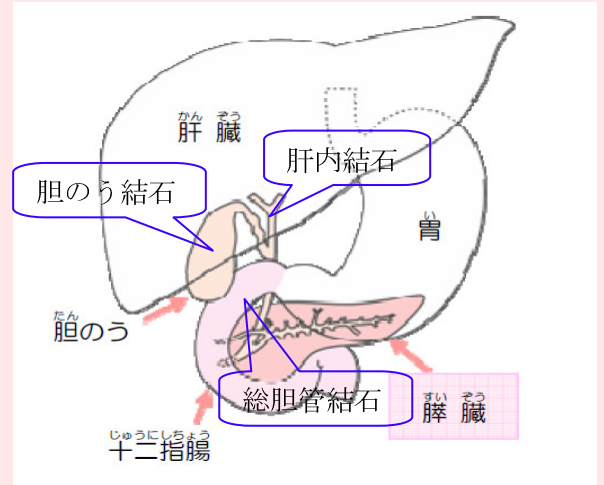
松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

作成：医事課

<病気について>

肝臓では脂肪の消化、吸収を助ける胆汁という黄褐色の液を分泌しています。胆石は、この胆汁の成分が固まってできたもので、石ができる場所により胆嚢結石症、総胆管結石症、肝内結石症といます。

ここでは頻度の多い胆嚢結石、総胆管結石について説明していきます。



<症状>

①胆嚢結石

胆嚢に石があっても無症状の人も多いですが、典型的には脂肪分の多い食事の後に痛みが見られることがあります。痛みはみぞおちや右の肋骨の下あたりに起こることが多いですが、背中や右肩の痛みがでることもあります。

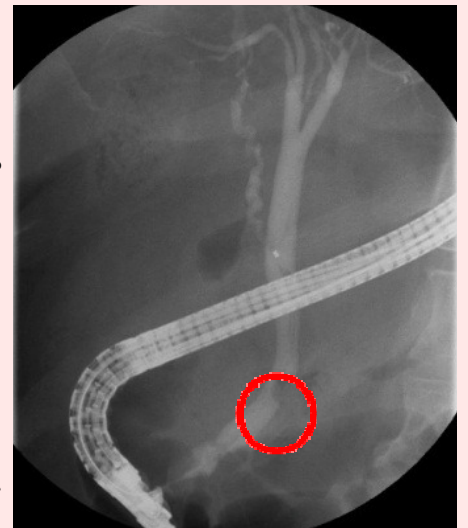
結石が胆嚢の出入り口を塞いだ場合、胆汁の流れが妨げられ、その状態で胆嚢内に細菌が感染すると熱が出ます。

②総胆管結石

胆嚢結石とは異なり、何らかの症状がでることが多いです。総胆管内の結石により胆汁の十二指腸への流れが妨げられ、みぞおちの強い痛みや熱などの症状が出ます。胆管内に溜まった胆汁が血液中に逆流すると黄疸(皮膚が黄色くなる)をきたします。

また、胆汁の十二指腸への出口の近くには膵臓もあるため、出口に石がはまりこんだ場合、膵臓の炎症が起こることがあります。膵炎では、みぞおちや背中の痛みなどが起こります。

気になる症状があれば早期の医療機関受診をおすすめします。



総胆管結石の写真

<検査>

腹部超音波検査やCT、MRIなどがあります。それぞれ一つの検査では確実に判断できない場合があり、実際には複数の検査を行い総合的に判断します。

<治療>

たんのうけっせき

①胆嚢結石

けいこうたんせきようかいざい

・経口胆石溶解剤

たんせき と ちりょう たんのう しゅじゅつ ふたん
薬で胆石を溶かす治療です。胆嚢も残り、手術もしなくて済むので体に負担はかかりませんが、治療期間は長くなり、効果もそれほど期待できません。

・手術治療

たんのう てきしゅつ ちりょう こんちてき ちりょうほうほう
胆石がたまっている胆嚢を摘出する治療で、最も根治的な治療方法です。最近では
ふくくうきょう
腹腔鏡を用いて行うことが多いです。腹腔鏡で手術を行う場合、いくつかの小さな穴
を明け、腹腔鏡や手術器具をお腹の中に入れ、モニターを見ながら腹腔鏡下操作により
しゅじゅつ
手術を行います。通常の開腹手術と比較して傷が小さくなるため、術後の痛みが
にゅういんきかん
少なく、入院期間も短くなり、早期の社会復帰が可能となります。

そうたんかんけっせき

②総胆管結石

ないしきょうてきそうたんかんけっせきじょきよじゅつ

・内視鏡的総胆管結石除去術

そうたんかんけっせき

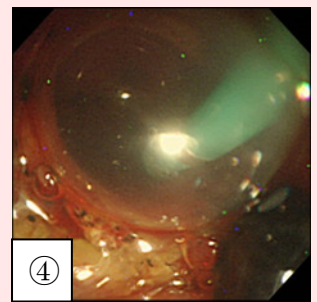
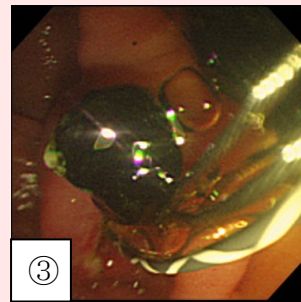
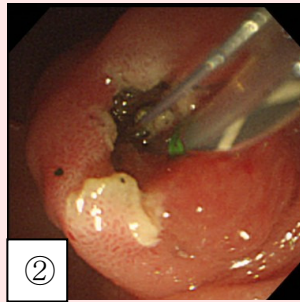
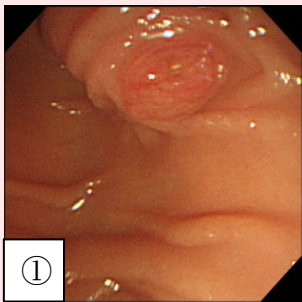
ないしきょう

さいせき

さいせきじゅつ

しゅりゅう

総胆管結石の治療は内視鏡を使用した碎石、採石術が主流となっています。



せんよう

しょくどう い

じゅうにしちょうにゅうとう

たんかん

専用の内視鏡を口から挿入し、食道、胃を通して十二指腸乳頭と呼ばれる胆管の
せっかい
出口まで進めます。(写真①) その後十二指腸乳頭を専用の電気メスで切開し、(写真
②) バスケットカテーテル(写真③) やバルーンカテーテル(写真④) を用いて石を
取り出します。総胆管結石が大きい場合には石を砕いてから取り出すこともあります。

<入院費～概算～>

内視鏡的総胆管結石除去術(7～10日入院)

1割・2割負担の場合 44,400円(上限)

3割負担の場合 150,000～240,000円 前後

腹腔鏡下胆嚢摘出術(8～13日入院)

1割・2割負担の場合 44,400円(上限)

3割負担の場合 210,000～300,000円 前後

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

胆石症で入院した患者数 78件

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、

医事課までお気軽にお尋ね下さい。